

議会活性化特別委員会次第

令和7年11月7日
301会議室

協議事項

- 1 前任期からの申し送り事項について
- 2 議会改革に関する検討項目について
- 3 令和8年度議会報告会の方針について
- 4 観察受け入れの議員対応について

資料1

令和7年9月3日

加賀市議会

議長 今津 和喜夫 様

議会活性化特別委員会

委員長 上田朋和

議会活性化特別委員会の報告について（最終報告書）

議会活性化特別委員会では、約1年に渡り、議会活性化の取組に関する協議及び検討を行ってまいりました。その間、中学生議会等を実施し、その結果等を議長に報告してきました。

この度、これまで本委員会で行ってきた内容や次期委員会への申し送り事項について取りまとめましたので、報告いたします。

記

1 委員会の取組結果

別紙報告書のとおり。

2 次期への申し送り事項

①広報媒体の有効活用について

本委員会広報部会を中心に、議会だよりのさらなる充実に努め、読み応えのある記事づくりに取り組んでいただきたい。また、ホームページ、フェイスブック、インスタグラム、ユーチューブ、ケーブルテレビ等、さまざまな広報媒体を連動させ、効果的な議会情報の発信に取り組んでいただきたい。

特に、ユーチューブの取り組みについては、予告動画や委員会紹介動画等の作成に関する取り決めを作成できるように取り組んでいただきたい。

②議員間討議の実施について

常任委員会を中心に実施し、市政に関する重要な課題等について、議員間での討議を活発に行うことにより、論点を明確にし、更に議論を深めていただくとともに、必要に応じて政策提案等につなげていただきたい。

③意見交換会の積極的開催について

本年度も昨年度に引き続きグループトーク方式による議会報告会「議会おでかけトーク」を実施した。翌年度の開催に向け、アンケート結果を参考にしながら、開催時期や開催地区（場所）等の検討に加え、実施方法等の改善についても検討していただきたい。

④若者や女性、会社員などの多様な人材の市議会への参画と活性化に関する検討について

近年、全国の地方議会において、議員の成り手不足が課題となっている。この問題の解決には多様な人材の市議会への参画を促す対策が必要である。加賀市議会としては、加賀市議会政治倫理条例、加賀市議会委員会条例及び加賀市議会会議規則の改正を行ったが、引き続き、本委員会において具体策の検討を行っていただきたい。

⑤中学生議員による議会の開催について

令和7年8月5日に中学生議会を開催し、中学生議員からは「自分で質問を考えることは難しかったが、自分たちの町や市、生活をより良くするために何をすればよいか、どのようなことができるのか考えられてよかったです」、「議会に参加するという普段は経験できない貴重な経験ができてよかったです」「他の学校の中学生議員の意見も聞くことができてよかったです」などのご意見をいただいた。

先生からは、「質問通告書作成にあたり議員から丁寧に指導していただき感謝している」、「自分の意見を伝え、市長や教育長から答弁をもらうという参加した中学生にとって非常に有意義な経験をすることができてよかったです」とする意見があった一方で、「中学生議会の実施時期が、特に運動系の部活動の加賀地区大会などに向け、生徒たちが日々頑張って活動している時期と重なっており、6月早々に中学生議員を2名決定し、加賀市の未来についての意識を持たせた上で、担当議員の方と話す段階までに質問をまとめておかなければならないことを考えると、時間的余裕がなく、もっとじっくり加賀市の取り組みについて調べたり、考えを深めるための話し合いをする時間が必要ではないかと思う」との意見もあった。

教育委員会からは、「学校と連携して行う以上、学校の教育目標や年間計画に一層合致したものとなるようお願いしたい」、「学校側としては、かなり大きな負担を感じているという声もある」、「この時期は、中学生意見発表会、部活動大会などと重なり、社会科公民で政治・地方自治を学ぶ前の2年生・1年生議員になりがちになるため、この体験を学びに生かしきれていない。そのため、教育的効果に疑問がある。今後の提案として、①STEAMプレゼンテーションと議会のコラボとし、ここに市議会議員の方々が入り、質問・講評してもらえばありがたい。②中学生と議員の「30年後の加賀市」について本気のトークを行い、予想人口、税収などの資料をもとに、ピンチをチャンスにする話し合いをする。③中学校の社会科公民・地方自治の授業の際に出前授業と模擬選挙を行えば、理解が深まる」などのご意見をいただいた。

議員からは「事前打ち合わせの効果もあり、学校生活に関する質問より、市政に対する項目が多かったことは良かった」、「中学生が考えた質問を大きく変えないように本人と調整をした方が良い」などの意見があった。

このような結果を受け、次期については、教育現場の意向も踏まえたうえで、中学生による議会の開催の検討を行っていただき、併せて開催時期や進め方などについても検討していただきたい。

⑥本会議における生成AIを活用した字幕、音訳を導入することの検討について

本会議において手話通訳を導入しているが、今後生成AIを活用した字幕、音訳を導入することについて検討していただきたい。

3 今後の議会活性化に関する取組について

前期委員会の申し送り事項を中心に、広報広聴の充実、開かれた議会の推進等、議会活性化の取組を進めてきた。

早稲田大学デモクラシー創造研究所（旧早稲田大学マニフェスト研究所）の地域経営のための議会改革度調査において、2016年、2017年に過去最高の4位という評価をいただいて以来、2022年は4位、2023年は5位であった。そして今回の2024年では10位という評価をいただくことができた。順位は下がったものの、これまで議会活性化に取り組んできた積み重ねが全国的に評価されたものであり、引き続き、市民からも高い評価を得られるよう、議会活性化に向けた取り組みを続けていくことが重要であると考える。

よって、次期の議会体制においても、議会活性化の委員会を設置し、今期委員会でまとめた申し送り事項を踏まえ、加賀市議会基本条例に掲げた「開かれた議会」、「監視する議会」、「審議する議会」、「政策提案する議会」、「市民が参加する議会」の実現を目指し、加賀市議会の活性化に向けたより一層の取組を期待する。

議会活性化特別委員会 報告

1. 委員構成

委員長：上田 朋和

副委員長：南出 貞子

委 員：上野 清隆、若林 高、荒谷 啓一、一色 真一、東野 真樹、中川 敬雄、山口 忠志

2. 調査目的

議会改革、広報・広聴に関する調査研究

3. 調査期間

令和6年9月25日～令和7年9月3日

4. 委員会等開催状況

	委 員 会	行 政 視 察
令 和 6 年	3回	1回
令 和 7 年	6回	0回
合 計	9回	1回

5. 協議事項件数

21件（令和6年：6件、令和7年：15件）

6. 行政視察

◆12月19日 静岡県掛川市議会

「広報・議会報告会について」

◆12月20日 神奈川県開成町

「議会だより、ホームページについて」

7. 主な取組事項

① 大聖寺実業高等学校との意見交換会

若者の市政及び議会への関心度を高める取組の一つとして、大聖寺実業高等学校との意見交換会を開催した。生徒からは「加賀市の活性化」、「加賀市の防災対策」、「加賀市の福祉政策」をテーマに、たくさんの意見、提案があったことから、3月定例会での質問として取り上げた。

② 議会報告会「議会おでかけトーク」の実施

実施要綱に基づき市内11会場（まちづくり単位）で開催した（昨年度は10会場）。当日は4つのテーマを説明した後、テーブルごとに1つテーマを選んでいただき、グループトーク方式による意見交換を行った。グループトークは、各グループの議員が進行役を務めた。



参加者へのアンケートの結果では、グループトーク方式に対し「とても気軽に意見・考えを発言することができた」、「比較的気軽に意見・考えを発言することができた」と回答した方が8割を超えており、参加者からは活発なご意見・ご提案をいただくことができた。今後は、アンケート結果などを参考にしながら、令和8年度に生かしていく必要があると思われる。



③ 議会おでかけ教室の開催

加賀市の未来を担う子どもたちが、自分たちの市の姿をよく見つめ、地域や社会の将来について考えるとともに、議会や市政の仕組みを深く学び、地域のまちづくりに進んで参加しようとする意識を高めることを目的として、5月22日に山代小学校6年1組から3組で実施した。

議員から加賀市議会の説明を行った後、児童と意見交換を行った。実施後、学校の先生からは「6年生はこの時期に公民の授業で地方自治を学ぶため、児童にとっては大変良い機会になった。」とご意見をいただいた。



④ 中学生議会の開催

加賀市の未来を担う中学生に、選挙権年齢の引き下げにより身近なものとなった議会や市政への理解と関心を高めてもらうとともに、市政に対する要望や質問を発表する機会を提供し、中学生の視点からの意見を今後の市政運営に反映させていくことを目的として、8月5日に中学生議会を開催した。



当日、中学生議長の進行により、11人の中学生議員が市政や学校生活などに対し、若い感性や視点から市当局に質問した。



中学生議員へのアンケートの結果では、「自分で質問を考えることは難しかったが、自分たちの町や市、生活をより良くするために考えられてよかった」、「議会に参加するという普段は経験できない貴重な経験ができるってよかった」などのご意見をいただいた。

⑤ 議会改革度調査2024ランキング全国10位

早稲田大学デモクラシー創造研究所（旧早稲田大学マニフェスト研究所）が、毎年、全国の県市区町村議会へ議会改革に関するアンケート「地域経営のための議会改革度調査」を実施しており、地域経営のための議会改革度調査2024において、加賀市議会が全国10位という評価をいただいた。

調査項目に対する回答については、委員会で回答案について協議し、ランキング向上に資するさらなる議会改革の取組が実施できるかどうかについて検討した上で回答した。

8. 調査の結果

本委員会では、この間、9回の会議を開き、議会活性化に向けた議論や調査を重ね、着実に実行してきた。

早稲田大学デモクラシー創造研究所の地域経営のための議会改革度調査において、2016年、

2017年に過去最高の4位という評価をいただいた以来、年々順位が下降ぎみであったが、2022年には過去最高と並ぶ4位、2023年では5位、そして2024年は10位という評価をいただくことができた。

これは、これまで議会活性化に取り組んできた積み重ねが全国的に評価されたものであり、引き続き、市民からも高い評価を得られるよう、議会活性化に向けた取組を続けていくことが重要であると考える。

よって、次期委員会でも本委員会でまとめた申し送り事項等を踏まえ、議会基本条例の趣旨に則り、加賀市議会の活性化に向けたより一層の取組を期待する。

議会改革に関する検討項目 意見記入用紙

議員(会派)名 _____

令和7年10月30日から新しい任期がスタートし、新議長のもと、市民に身近な議会を目指し、市民満足度を高めるため、さらなる議会改革に取り組んでいくこととしております。

議会活性化特別委員会では、今後も、議会基本条例に掲げる「開かれた議会」「市民が参加する議会」「政策提案する議会」など、議会活性化に向けた取り組みを実施していきます。

つきましては、全議員対象に「今後、議会活性化特別委員会で検討してほしいこと」の意見募集を行います。どんなことでも結構ですので、何か検討してほしい項目がありましたら、12月18日(木)<本会議最終日>までに、下記の項目をご記入の上、事務局まで提出願います。

※意見提出は、「個人」・「会派取りまとめ」のいずれでも結構です。

記

No	項目	内容
1		
2		
3		
4		
5		

★正副委員長 提案分

No	項目	内容
1	議員間討議の実施	常任委員会を中心に実施し、市政に関する重要な課題について議員間での討議を活発に行う。
2	若者や女性、会社員などの多様な人材の市議会への参画と活性化に関する検討	議員の成り手不足が課題となっており、問題解決には多様な人材の市議会への参画を促す対策が必要である。その検討を行う。

提出期限:12月18日(木)※本会議最終日

令和8年度 議会報告会の実施方針について(未定稿)

項目	正副委員長による方針
1. 名称	議会おでかけトーク
2. 開催時期	令和8年●月～●月
3. 開催地区・班編成	<ul style="list-style-type: none"> ・実施要綱に基づき、令和6年度と令和7年度の2ヵ年度で実施する。 ・令和6年度はまちづくり単位 10 地区、令和 7 年度はまちづくり単位 11 地区 ・3班編成で開催する。(詳細は次回委員会で協議する)
4. 意見交換方式	グループトーク方式
5. 意見交換のテーマ	市民に身近な市政テーマを複数挙げ、当日各グループで選択する。(詳細は次回以降の委員会で協議する)
6. フシリテーション研修	グループでの意見交換を踏まえ、進行役としてのノウハウを高めるため、議員研修の一環として、2月中にファシリテーション研修を行う。議会活性化特別委員及び希望する議員



勅使地区



動橋地区



庄地区

平成30年1月から、「議会の取組」に関する視察受入れの際、議長及び議会活性化特別委員会が2人ずつ当番制により、対応してきた。

新体制下においても、引き続き、次の要領で対応することとした。

◎グループA・Bから、それぞれ1名ずつの当番とする。(案)

[グループA 6人] ※ 原則、②から順番に割り当てる。

①山口議長、②中川委員長、③荒谷副委員長、④一色委員、⑤若林委員、⑥上野委員

[グループB 3人] ※ 原則、①から順番に割り当てる。

①福永委員、②高橋委員、③植木委員

※当局側の取り組みに係る内容のときは議長が対応する。議長が都合がつかないときは副議長が行う。議会活性化の取り組みに係る内容のときはグループA(②～⑥)・B(①～③)から1名ずつ割り当てる。

※11月26日(水)に東京都足立区から加賀市教育ビジョンについて視察に訪れることとなっており、中川委員長に挨拶をお願いしている。

※視察日程が追加されたときは、追加された順に新たに当番を割り当てる。

※当番議員への連絡は事務局から行う。

<視察受入時の役割>

①挨拶(議長又は当番議員のうち1名)

②説明(事務局)※説明時、当番議員の中座は可能(任意)

③質疑応答(当番議員)

<視察受入状況>

令和4年度:35件(うち議会関係 6件) 令和5年度:27件(うち議会関係10件)

令和6年度:24件(うち議会関係 7件) 令和7年度:25件(うち議会関係 6件)

(R7.11.7現在)